## ←前画面へ戻る

● 科目名	図書館入門
● 科目名(英訳)	Introduction to Libraries
科目ナンバー	HX113C01
● 詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
● 担当者 (非)は非常勤講師	石橋 豊之
● 単位数	2
● 開講学年	1年
帰講セメスター	秋期毎週
<ul><li>対象学科 選択・必修</li></ul>	必修: 選択:HJ HF HI HW HH HM
🥯 他学科受講	
◎ 履修順序·履修情報	人数制限あり
担当者及び時間割	
● カリキュラムの中での位置付け ● /DP(ディプロマ・ポリシー)	人文学部の学部共通科目群に属する科目である。 また、司書課程の「図書館に関する科目」のうちの「基礎科目」に属する科目でもあるため、司書資格を取得する ために必要な科目である。
🥯 身につく基礎カ / 身につく汎用カ	調査·情報収集力 課題設定力

## 授業の主旨 (概要)

図書館について、役割、歴史と現状、運営形態、今後の課題までを包括的に把握できるようになることが目標である。図書館という概念について 理解し、今後の課題設定や司書資格関係授業への参加方法について概観できる能力を得ることが重要である。 また、学部2年生以上の学生については原則司書課程登録者のみ履修できる(2年秋登録予定の学生は事前にその旨を教員に連絡すること)。

図書館の現状と動向、構成要素と機能、社会的意義、知的自由との関係、歴史など、また公立図書館の成立と展開、館種別図書館と利用者のニーズ、図書館職員の役割と資格、情報技術の最新動向、課題と展望などについて理解し、知識を身につけることを目標とする。加えて小レポート等を通し能動的に調査・情報収集をする能力を身につけることも目標とする。

- 最終的には、以下の能力の獲得を目指す。
  ・図書館の機能について理解し利用することができる
  ・図書館制度について理解することができる
  ・将来的な図書館像を考えることができる
  ・基本的な調査及び情報の収集をすることができる

	【内容】	ガイダンス: 図書館と図書館情報学および司書資格について解説する
1	【授業外学習】	今まで図書館をどのように利活用してきたかについてアンケートに回答する
	【内容】	図書館の歴史(世界):古代から近代にかけての海外の図書館史を概観する
2	【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること
	【内容】	図書館の歴史(日本):古代から現代にかけての日本の図書館史を概観する
3	【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること
4	【内容】	現代の図書館の動向: 現在の図書館(特に公立図書館)がどのような状況なのか、そしてどのような課題を抱えているかについて解説する
	【授業外学習】	小レポート①を作成
_	【内容】	図書館の種類と制度:図書館について館種ごとの法制度や特徴を解説する
5	【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること
	【内容】	図書館におけるサービス①(サービス全般):図書館におけるサービスのうちパブリックサービスを中心に見ていく

「日本外学型		6							_				
			【授業外学習】	講義資料を用いて自習す	るこ	<u> </u>							
投資計画   1月9日   製造銀工制でもサービスを(サームの無用):当年の副連修では整備にボーヤゲームを同じてした傾義でいる。また、デジルゲームを開いてイントと残酷されている。この上の展覧があれている。また、デジルゲームを開いてイントと残酷されている。この上の展覧があれている。このでは公立回言語にとって含ましい経営   1日本外学習   議会費は長期いて自習すること   1日本が中国によって考える   1日本が中国によって考える   1日本が中国によって考える   1日本が中国によって考える   1日本が中国によって考える   1日本が中国によって表える   1日本が中国によって表える   1日本が中国によって表える   1日本が中国によって表えられられている。また、その地域との変わりは重要である。その理念やサービス   1日本が中国によって表えられら、また、その地域との変わりは重要である。その理念やサービス   1日本が中国によって表えられら、また、その地域との変わりは重要である。その理念やサービス   1日本が中国によって表えられら、また、その一環として全て関連的によっいてお客がまた。 1日本が中国によったである   1日本が中国によったである   1日本が中国によったである   1日本が中国によったの日本が中国である。   1日本が中国によったの日本が中国である。   1日本が中国によったの日本が中国である。   1日本が中国によったの日本が中国によったで観視を担当しているが、日本が中国によったである   1日本が中国によったの日本が中国によったの日本が中国によったの日本が中国によったの日本が中国によったの日本が中国によったの日本が中国によったの日本が中国によったの日本が中国によったの日本が中国によったの日本が中国によったの日本が中国によった。   1日本が中国によったの日本が中国によった。   1日本が中国によった。   1日本が中国によった。   1日本が中国によったの日本が中国によった。   1日本が中国によった。	455 W 1	7	【内容】										
接来外等   「投業外等   消費資料を用いて自密すること			【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること									
「投業外学部   純養資料を用いて自当すること		8	【内容】	図書館におけるサービス③(ゲームの活用): 近年の図書館では館内にボードゲームを置くことが増えている。また、デジタルゲームを用いたイベントも実施されている。こうした図書館の新たな動向について見ていく									
1	雙 按耒訂凹		【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること									
「授業外学習   議義資料を用いて自習すること   「内容   「技術の学   「技術の学   「大きいでは、		9	【内容】	図書館の経営と組織:公立図書館においても経営の考え方は重要である。ここでは公立図書館にとって望ましい経営 の形や組織について考える									
(アンリンで考える)			【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること									
「根来外学習」 小レボート②を作成   日本学		10	【内容】										
11 【授業外学習】 接触について見ていた。また、その一環として電子図書館について結解散する			【授業外学習】	小レポート②を作成									
【内容   図書館とデジタルアーカイブ: 図書館において取り組んでいるデジタルアーカイブについてその実践を見ていく   【授業外学習】講義資料を用いて自習すること   【伊楽 十年 間報・主題組織・図書館における情報組織化について解説する。具体的には目録・件名・分類についてである   【授業外学習】講義資料を用いて自習すること   【内容   学術情報と図書館: この回は大学図書館に集点を当てその取り組みや課題について解説する   【授業外学習】 講義資料を用いて自習すること   【伊楽 外学習】 「投業外学習」 これまでの演義内容を振り返り、確認テストの対策をとること   【授業外学習】 これまでの演義内容を振り返り、確認テストの対策をとること   【授業外学習】 これまでの演義内容を振り返り、確認テストの対策をとること   【授業外学習】 これまでの演義内容を振り返り、確認テストの対策をとること   【授業の学生にはコメント等をつけて返却する予定であるが、多くの学生に共通するような一般的な注意事項等のコメントが多い場合は、創別に対応するのではなく、授業中に全員に対して一層してフィードバックする。   会別に対応するままままで評価する。		11	【内容】	図書館における情報技術:ここでいう情報技術やICTやデジタルに関するものを指す。図書館内で活用されている情報技術について見ていく。また、その一環として電子図書館についても解説する									
13			【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること									
「快業外学習」講義資料を用いて自習すること   「内容   目録・主題組織・図書館における情報組織化について解説する。具体的には目録・件名・分類についてである   「投業外学習   講義資料を用いて自習すること   「内容   学術情報と図書館:この回は大学図書館に集点を当てその取り組みや課題について解説する   「投業外学習   講義資料を用いて自習すること   「内容   議義資料を用いて自習すること   「内容   「提業外学習   これまでの講義内容を振り返り、確認テストの対策をとること   「内容   「提業外学習   これまでの講義内容を振り返り、確認テストの対策をとること   「投業外学習   これまでの講義内容を振り返り、確認テストの対策をとること   「投業外学習   でおってはなく、投業中に全員に対して一括してフィードハンクする。   存储の   日別に対応するのではなく、投業中に全員に対して一括してフィードハンクする。   存储の   日別に対応するのではなく、投業中に全員に対して一括してフィードハンクする。   小ルボート2回(名 10 名) 検証テストの結果を踏まえて評価する。 かいボート2回(名 10 名) 検証テスト回信(の)		12	【内容】	】 図書館とデジタルアーカイブ:図書館において取り組んでいるデジタルアーカイブについてその実践を見ていく									
「伊莱外学習」 講義資料を用いて自習すること   「内容」 学術情報と図書館:この回は大学図書館に集点を当てその取り組みや課題について解説する   「伊莱外学習」 講義資料を用いて自習すること   「伊藤		12	【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること									
「伊莱外学習」 講義資料を用いて自習すること   「内容」 学術情報と図書館:この回は大学図書館に集点を当てその取り組みや課題について解説する   「伊莱外学習」 講義資料を用いて自習すること   「伊莱外学習」 講義資料を用いて自習すること   「伊莱外学習」 講義資料を用いて自習すること   「伊莱外学習」 講義資料を用いて自習すること   「伊莱外学習」 ではますの講義内容を振り返り、確認テストの対策をとること   「伊莱外学習」 ではますの講義内容を振り返り、確認テストの対策をとること   「伊莱方法   「伊莱外学習」 「元までの講義内容を振り返り、確認テストの対策をとること   「伊莱方法   「伊莱外学習」 「元までの講義内容を振り返り、確認テストの対策をとること   「伊莱方法   「伊藤   「元まり、「伊藤   「西藤		13	【内容】	目録・主題組織:図書館における情報組織化について解説する。具体的には目録・件名・分類についてである									
14			【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること									
「「		14	【内容】	学術情報と図書館:この回は大学図書館に焦点を当てその取り組みや課題について解説する									
「授業方法   「授業方法   「授業方法   「授業方法   「授業方法   「授業方法   「授業方法   「受業   「表本的にはコメント等をつけて返却する予定であるが、多くの学生に共通するような一般的な注意事項等のコメントが多い場合は、個別に対応するのではなく、授業中に全員に対して一括してフィードバックする。   を発酵で行われるハレボート、授業への参加態度(各回で振り返りを実施)及び最終回に実施する確認テストの結果を踏まえて評価する。   「おような   「おような   「おまって   「ままって			【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること									
使業方法   歴学   課題等については、基本的にはコメント等をつけて返却する予定であるが、多くの学生に共通するような一般的な注意事項等のコメントが多い場合は、個別に対応するのではなく、授業中に全員に対して一括してフィードバックする。		15	【内容】	確認テスト									
授業方法   課題等については、基本的にはコメント等をつけて返却する予定であるが、多くの学生に共通するような一般的な注意事項等のコメントが多い場合は、個別に対応するのではなく、授業中に全員に対して一括してフィードバックする。   「成績の 評価方法   各段階で行われる小レポート、授業への参加態度(各回で振り返りを実施)及び最終回に実施する確認テストの結果を踏まえて評価する。			【授業外学習】	これまでの講義内容を振り	り返り	J、確認テストの対策をとること 							
成績の   評価方法   記号   記号   記号   記号   記号   記号   記号   記	<b>⑥</b> 授業方法	課是	│ 課題等については、基本的にはコメント等をつけて返却する予定であるが、多くの学生に共通するような一般的な注意事項等のコメントが多い場										
達成目標の90%以上の達成でS評価、80%以上でA評価、70%以上でB評価、60%以上でC評価     No 書籍名		小し確認	ンポート2回(各10点) 忍テスト1回(50点)		各回:	で振り返りを実施)及び最終回じ	こ実施する確認	テストの	の結果	を踏まえて評価する。			
1.       『図書館情報学基礎資料: 第5版』       今まど子、小山憲司       樹村房       1320       978-4-88367-386-5         No       書籍名       出版社       価格       ISBN/ISSN         1.       『図書館情報学を学ぶ人のために』       逸村裕、田窪直規、原田隆史       世界思想社       2640       978-4790716952         2.       『図書館概論: 改訂版』       高山正也、岸田和明       樹村房       2200       978-4-88367-271-4         6.       備考         関連							C評価						
1.     図書館情報子基礎資料: 第5版		N	o書籍名			著者名	出版社	価格	ISI	BN/ISSN			
・参考文献       1. 『図書館情報学を学ぶ人のために』       逸村裕,田窪直規,原田隆史       世界思想社       2640       978-4790716952         2. 『図書館概論: 改訂版』       高山正也,岸田和明       樹村房       2200       978-4-88367-271-4         ● 備考       関連	🧶 教科書	1	『図書館情報学基	礎資料: 第5版』		今 まど子, 小山 憲司	樹村房	1320	97	8-4-88367-386-5			
・参考文献       1. 『図書館情報学を学ぶ人のために』       逸村裕,田窪直規,原田隆史       世界思想社       2640       978-4790716952         2. 『図書館概論: 改訂版』       高山正也,岸田和明       樹村房       2200       978-4-88367-271-4         ● 備考       関連													
2. 『図書館概論: 改訂版』 高山正也, 岸田和明 樹村房 2200 978-4-88367-271-4 側滑		No	書籍名		著	者名 	出版社	1	価格	ISBN/ISSN			
● 備考 関連	🥚 参考文献	1	『図書館情報学を学	学ぶ人のために』	逸	村裕, 田窪直規, 原田隆史	世界思想社	± 2	2640	978-4790716952			
Big   Big		2.	『図書館概論: 改訂	「版』		山正也,岸田和明	樹村房	2	2200	978-4-88367-271-4			
	● 備考												

## 1 図書館入門

● メール アドレス

石橋 豊之 sup9934@fsc.chubu.ac.jp

オフィス アワー

7.7—

で前画面へ戻る

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011